

2026 (令和8) 年度入学試験問題

日 本 史

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題の本文は全部で33ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
6. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
 - (2) 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下のマーク欄を正確にマークすること。
マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
 - (3) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - (4) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - (5) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - (6) 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の(例)のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

(例) ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

〔設問1〕 傍線部(a)の人物は、蔵人所の初代長官である蔵人頭に任じられ、後の藤原氏発展の礎を築いた人物である。蔵人所と蔵人頭について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 蔵人所は平安京の治安維持を担う令外官であったため、蔵人頭は京内の軍事権を掌握した。
- ② 蔵人所は太政官を監視する組織として設置され、蔵人頭には太政官の官職に任じられた上級貴族を逮捕する権限が与えられた。
- ③ 蔵人所は国司の任期中の職務を監査する権限を有していたことから、蔵人頭は受領の国務に対して影響力を及ぼすことができた。
- ④ 蔵人所は令外官として設置された機関で、蔵人頭は天皇と太政官との間の連絡を取り次ぐ役割を果たした。

〔設問2〕 傍線部(b)の人物について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 文徳天皇を即位させ、文徳天皇の大権を代行する摂政の地位に就いた。
- ② 文徳天皇の摂政に就任した1年後、基経にその地位を譲り、自らは大御所として基経を後見することで権勢を振るった。
- ③ 清和天皇の即位後、摂政に就任し、清和天皇にかわって天皇大権を行使した。
- ④ 清和天皇の即位後、橘諸兄の系譜を引く橘逸勢を失脚させ、関白の地位についた。

〔設問3〕 傍線部(c)の人物と天皇の関係に関連して述べた次の文 a ~ d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①~⑥のうちから一つ選び、解答欄 **3** にマークしなさい。

- a 光孝天皇はこの人物を関白に任命するとともに、菅原道真を右大臣として登用した。
- b 醍醐天皇はこの人物を左大臣に任命したが、摂政・関白の地位を与えなかった。
- c この人物の策謀により、右大臣の菅原道真が大宰府に左遷された。
- d この人物は、妹・穩子の子である村上天皇が即位すると、天皇の外戚としての立場から権勢を振るった。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問4〕 傍線部(d)の天皇の時代に行われた編纂事業について述べた次の文 X・Y と、その時代の編纂物である a ~ d との組み合わせとして最も適切なものを、下の①~④のうちから一つ選び、解答欄 **4** にマークしなさい。

X 律令体制の復興を目指し、格を整理した新たな法典が編纂された。

Y 六国史の最後である正史が編纂された。

- a 『延喜格』 b 『貞観格』
- c 『続日本後紀』 d 『日本三代実録』

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
- ③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

[設問5] 摂関政治の時代に起こった政治的な出来事に関連して述べた次の文 i ~ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の① ~ ⑥のうちから一つ選び、解答欄 **5** にマークしなさい。

- i 安和の変が起こり、左大臣源高明が失脚した。
 - ii 阿衡の紛議が起こった。
 - iii 応天門の変が起こった。
- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
 ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

B 生徒Sは、10世紀における地方政治の実態を示す史料として下記の**史料1**に注目し、ノートを作成した。史料1とノートを読み、下記の設問に答えなさい。

史料1

尾張国郡司百姓等の解 太政官の裁断を申請する事
 「太政官において」裁断されることを請う、当国の
 守・藤原朝臣元命が三ヶ年の内に責め取った非法の
 官物、ならびに「元命の」乱行や不法行為について
 の三十一ヶ条の嘆願状

一、定例の出挙以外に、三箇年の収納でひそかに正
 税四十三万二千二百四十八束分にかかる利息十二
 万九千三百七十四束四把一分を加徴した件につ
 き、裁断を請います。(略)

一、守・元命朝臣が京より下向する度ごとに、官職
 を持つ従者たち、官職はないが位階を持つ従者
 たち、同じく「従者で」善からぬ者たちを引き
 連れてくる事について、裁断を請います。(略)

永延二年(九八八)十一月八日 郡司百姓等
 (原文は漢文)

※解…上申文書

ノート

史料1が書かれた平安時代中期、現地に赴任して国内支配を委任された国司は受領と呼ばれた。受領は課税率を高めて私財を蓄え、朝廷や院宮王臣家が催す行事や宮廷の殿舎・寺社の造営などの巨額の費用を請負った。受領の中には という任国に赴任しない国司や、 を派遣して政務を代行させる者も現れた。

受領の取りたては厳しさを増し、郡司や有力農民が受領の非法を書き上げた訴状を朝廷に提出し、受領の罷免を要求する事件が頻発した。^(e)史料1はそうした事件に関わる代表的な史料として今日に残されている。しかし、ここに書き上げられている受領による収奪は、平安時代中期に確立した新たな課税制度^(f)があつてこそ可能となったものである。

〔設問6〕 空欄 , に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① ア 成功 イ 目代
- ② ア 成功 イ 下司
- ③ ア 遙任 イ 目代
- ④ ア 遙任 イ 下司

〔設問7〕 **史料1** が書かれた平安時代中期の受領の課税方法と奈良時代の国司の課税方法の違いに関連して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、**解答欄** **7** にマークしなさい。

- a 奈良時代の公出挙は年貢と呼ばれていたが、平安時代中期になると官物と呼ばれるようになった。
- b 奈良時代の国司は庸・調として徴収した米を農民に貸付け、その利息を太政官に送っていたが、平安時代中期になると、国司が利息分を私財として蓄積するようになった。
- c 奈良時代の国司が徴収する公出挙の利率は法により定率で定められていたが、平安時代中期になると、受領が利率を恣意的に変動させるようになった。
- d 奈良時代の国司による税の徴収は地方豪族である郡司の協力を得て実施されたが、平安時代中期になると、受領の従者たちによる取り立てが行われるようになった。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問8〕 下線部(e)について、**史料1** が書かれた平安時代中期に国司により課税対象として位置付けられた有力農民を表す用語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、**解答欄** **8** にマークしなさい。

- ① 組頭 ② 田堵 ③ 郎等 ④ 地頭

〔設問9〕 下線部(f)に関連して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **9** にマークしなさい。

- ① 平安時代中期、課税の対象は人から田地（公田）に変えられ、その面積に応じた賦課がなされるようになった。
- ② 平安時代中期、特産物・手工業品と労役を賦課する課税のことを総称して義倉と呼んだ。
- ③ 平安時代中期、受領が統治する国内は国衙領と荘園に分割されており、受領は国衙領に居住する有力農民のみを課税対象としていた。
- ④ 平安時代中期、大宰府管内に公営田、畿内に官田が設置され、受領の課税方式の先駆けとなった。

C 史料2は、平将門の乱のことを記した『将門記』（現代語訳）の抜粋とその地図である。史料2を参照し、下記の設問に答えなさい。

史料2

※史料2については著作権の関係により掲載できません。

『将門記』、
原文は漢文

地図

※地図については
著作権の関係により掲載できません。

[設問10] 傍線部(8)の人物の官職について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **10** にマークしなさい。

- ① 蝦夷の安倍頼時・貞任父子を倒した坂上田村麻呂もこの官職に任命された。
- ② この官職に就任した者の赴任先は胆沢城であった。
- ③ この官職に就任する者は武官である勘解由使を兼任し、反乱の鎮圧や盗賊の追捕にあたった。
- ④ この官職に就任する者は陸奥国司を兼任することが律令により定められていた。

〔設問11〕 傍線部(h)の人物について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **11** にマークしなさい。

- ① 貞盛は平氏の一族で、将門側に加勢して下野国の豪族である藤原秀郷と戦った。
- ② 貞盛は源氏の一族で、将門の乱後、甲斐国に土着し甲斐源氏の始祖となった。
- ③ 貞盛は将門と敵対した平国香の嫡子で、源氏の始祖である源経基と協力して平将門を倒した。
- ④ 貞盛は平将門を討った平氏の一族で、その子孫に平清盛がいる。

〔設問12〕 史料2の内容に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **12** にマークしなさい。

- ① 『将門記』には、将門が桓武天皇の孫であることを根拠に自ら「新皇」と称したと記されている。
- ② 『将門記』には、将門が朝廷の許可を得ずに坂東諸国の国司を任命したと記されている。
- ③ 『将門記』には、平将門の乱以前に坂東八国に赴任していた受領は、乱が勃発した後、すべて将門に臣従しその統治下に入ったと記されている。
- ④ 『将門記』には、将門が平安京を侵略し、天皇を廃位して新たに皇位につくことを目指したと記されている。

〔設問13〕 平将門の乱に関する地図を参照し、国府が将門の勢力範囲外にあった国として最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **13** にマークしなさい。

- ① 相模国 ② 上野国 ③ 下野国
 ④ 下総国 ⑤ 甲斐国 ⑥ 伊豆国

〔設問14〕 地図中に示した坂東の内部で1028年に勃発した反乱について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **14** にマークしなさい。

- ① 清和源氏の源頼信は、上総国を拠点にした平忠常の乱を鎮圧し、関東に影響力を持つようになった。
- ② 清和源氏の源義朝は、下野国を拠点にした源義親の乱を鎮圧し、それ以後、源氏が関東北部の武士団を臣従させた。
- ③ 清和源氏の源頼義は、常陸国を拠点にした藤原基衡の反乱を鎮圧することにより、東国武士団に対する影響力を拡大した。
- ④ 清和源氏の源義家は、藤原清衡の助けを借りて上野国・下野国を拠点に反乱を起こした清原氏を滅ぼし、関東の武士団を臣従させた。

Ⅱ 次のA, Bの文章を読んで、各設問に答えなさい。

A 15世紀後半～16世紀にかけて、ヨーロッパ諸国は世界各地へ船を出し、多くの植民地を形成していた。スペインは中南米やフィリピンを、ポルトガルは南米（ブラジル）やアフリカの沿岸部をその手中におさめていた。スペインやポルトガルの活動の中、鉄砲やキリスト教などが日本に伝わった。

鉄砲は中国船に乗っていたポルトガル人が に来航した際、領主が購入し、家臣にその用法と製法を学ばせた。後にその技法が全国に伝わり、戦国期の戦法や戦術を変えることになった。キリスト教は の宣教師が鹿児島に來航し、その後西日本などをめぐり の教えを広めていった。日本とのつながりができたポルトガル船はさかんに來航するようになり、後にスペイン船も來航し、南蛮貿易が行われた。

16世紀後半になると、戦国大名の中でも力を強めた織田信長は新兵器である鉄砲を有効に使い勢力を拡大し、全国統一に向けて戦いを繰り広げた。近隣大名とも縁戚関係を結び、美濃の斎藤氏の娘・濃を妻とした。

信長は妹・市を近江の浅井長政に嫁がせ、友好関係をとっていた。しかし長政が越前の朝倉氏と組んで信長に敵対すると、 の戦いで浅井・朝倉を敗った。市には長政との間に3人の娘がいたが、戦から逃れ、後に娘たちを連れて信長の重臣であった柴田勝家に再嫁した。勝家が の戦いで豊臣秀吉に敗れた際、市は娘たちを逃がし、勝家と共に自害したとされる。3姉妹は秀吉の庇護をうけ、長姉は秀吉の側室となり秀頼を生み、末妹は徳川秀忠に嫁ぎ千姫を生んだ。秀頼は千姫と婚姻したが、のちに徳川家康と対立し攻め滅ぼされた（大坂の陣）。

戦国大名たちが繰り広げた数々の戦いの裏には、時代に翻弄された女性たちが多くいたのである。

〔設問1〕 空欄 **ア** , **イ** , **ウ** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **15** にマークしなさい。

- ① ア 屋久島 イ イエズス会 ウ カトリック
- ② ア 種子島 イ イエズス会 ウ カトリック
- ③ ア 屋久島 イ フランシスコ会 ウ プロテスタント
- ④ ア 種子島 イ フランシスコ会 ウ プロテスタント

〔設問2〕 空欄 **エ** , **オ** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **16** にマークしなさい。

- ① エ 桶狭間 オ 山崎 ② エ 姉川 オ 山崎
- ③ エ 桶狭間 オ 賤ヶ岳 ④ エ 姉川 オ 賤ヶ岳

〔設問3〕 下線部(a)と(b)の親族関係として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **17** にマークしなさい。

- ① 伯父と姪 ② 叔母と甥
- ③ いとこ同士 ④ はとこ同士

〔設問4〕 信長・秀吉の時代の文化を桃山文化という。桃山文化の頃の絵師X・Yとその作品a～dの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄

18

 にマークしなさい。

X 長谷川等伯 Y 狩野永徳

a

※作品 a については著作権の関係により掲載できません。

b

※作品 b については著作権の関係により掲載できません。

c

※作品 c については著作権の関係により掲載できません。

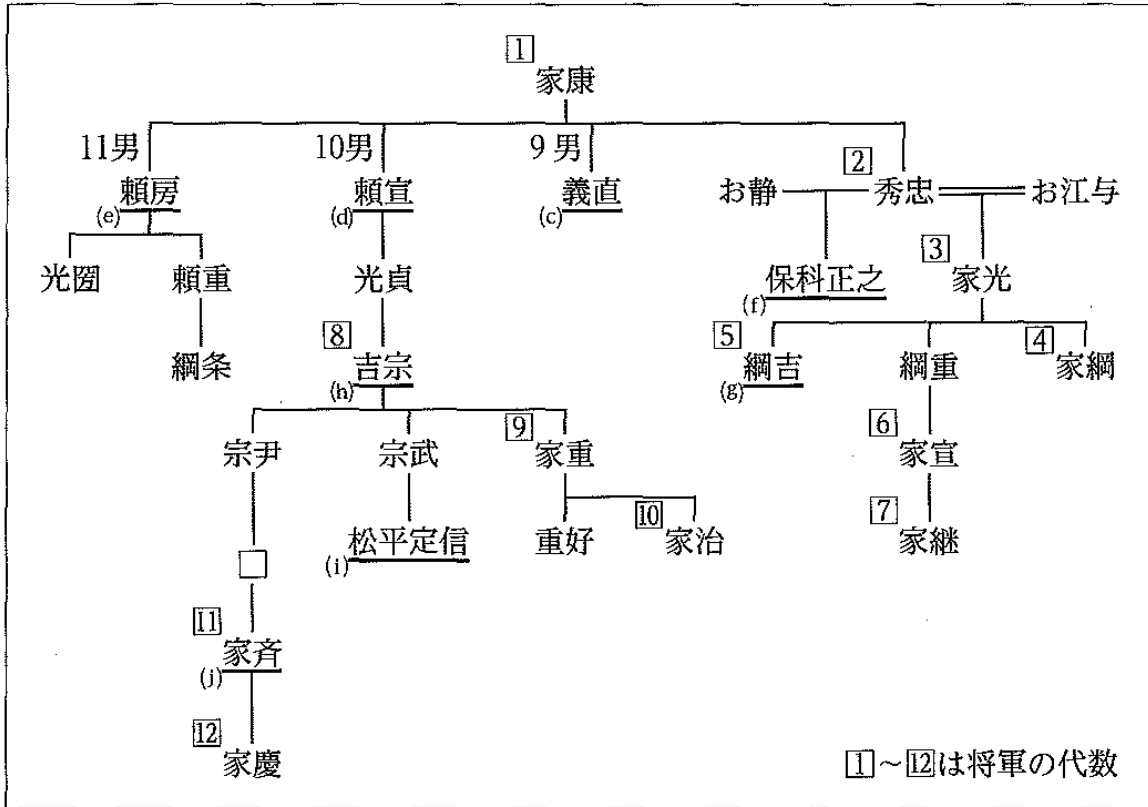
d

※作品 d については著作権の関係により掲載できません。

- ① X-a Y-c ② X-a Y-d
③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

B 教科書や資料集にある徳川家の家系図を見ていたSさんは、徳川家の相続に興味を持った。Sさんの書いた略系図が、次のものである。

略系図



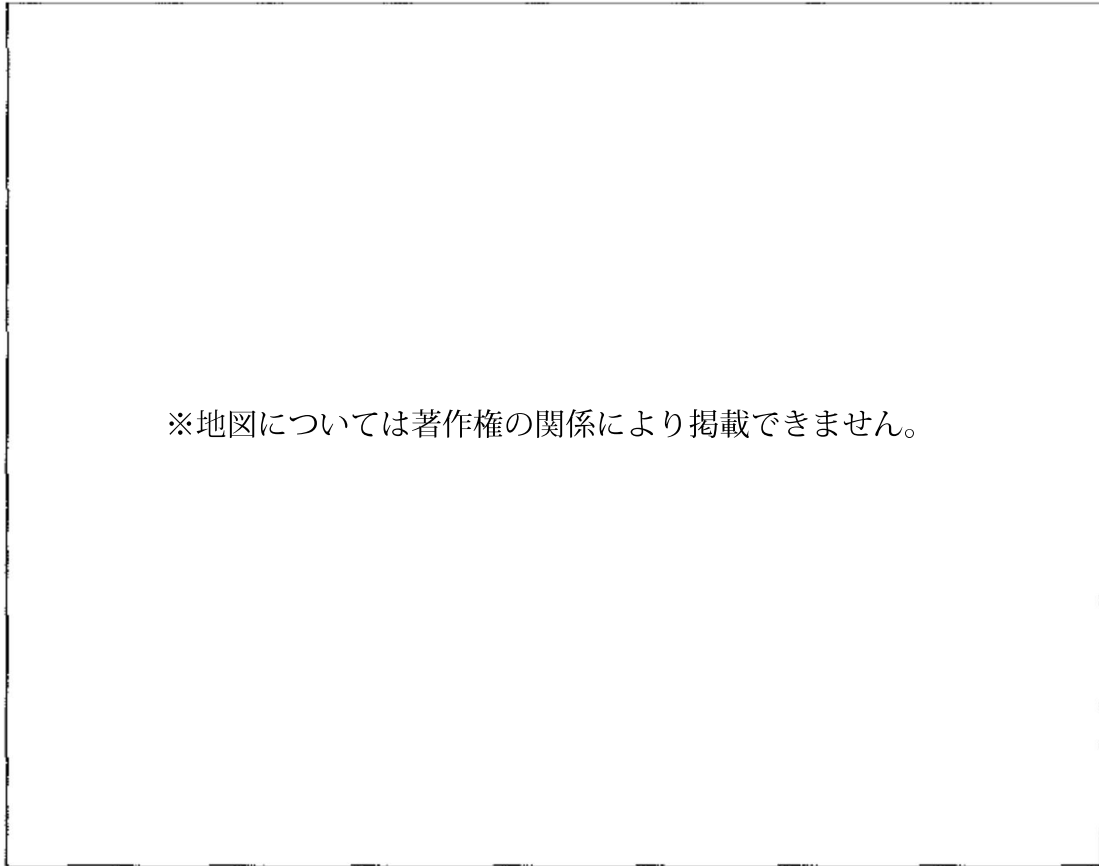
〔設問5〕 徳川家康が征夷大將軍となり江戸に幕府を開いた前後におこったできごとを述べた次の文 i ~ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①~⑥のうちから一つ選び、解答欄

19 にマークしなさい。

- i 一国一城令が出された。
 - ii 関ヶ原の戦いがおこった。
 - iii 日光に東照宮が創建された。
- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
 ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問6〕 家康には2代将軍となった秀忠以外にも多くの男子がいた。中でも9男・10男・11男は「御三家」として徳川の姓を与えられていたことで知られる。略系図中の下線部(c)・(d)・(e)の人物が与えられた領地を次の地図のい～はから選び、その人物と領地の組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **20** にマークしなさい。

地図



※地図については著作権の関係により掲載できません。

- ① (c) い (d) ろ (e) は
- ② (c) い (d) は (e) ろ
- ③ (c) ろ (d) い (e) は
- ④ (c) ろ (d) は (e) い
- ⑤ (c) は (d) い (e) ろ
- ⑥ (c) は (d) ろ (e) い

〔設問7〕 略系図中の下線部(f)の人物に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **21** にマークしなさい。

- a 会津藩の藩主となった。
- b 4代将軍家綱の補佐役を務めた。
- c 明暦の大火によって焼け落ちた江戸城天守を再建させた。
- d 朱子学をさかんにし、幕府に中江藤樹を招いた。

① a・b ② a・c ③ b・c ④ b・d

〔設問8〕 5代将軍と6代将軍は、2代続けて養子という形で将軍職を継承している。略系図を見てSさんはメモ1に2人の関係をまとめた。

メモ1

5代将軍は **カ** であり、6代将軍は **キ** である。

空欄 **カ** , **キ** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **22** にマークしなさい。

- ① カ 3代将軍の子 キ 4代将軍の弟
- ② カ 3代将軍の子 キ 4代将軍の甥
- ③ カ 3代将軍の孫 キ 4代将軍の弟
- ④ カ 3代将軍の孫 キ 4代将軍の甥

〔設問9〕 略系図中の下線部(g)の人物の将軍在職中（1680～1709）には大事件や天災が発生しており，幕府はその対応に苦慮した。次のa～dの事件・天災のうちこの時期に起きたものの組み合わせとして最も適切なものを，下の①～④の中から一つ選び，解答欄 **23** にマークしなさい。

- a 宝暦事件 b 赤穂事件 c 浅間山の大噴火
d 富士山の大噴火

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

〔設問10〕 7代将軍は幼少のうちに亡くなったので実子がなかった。御三家から将軍として迎えられた略系図中の下線部(h)の人物によって行われた改革に関して述べた次の文a～dについて，正しいものの組み合わせとして最も適切なものを，下の①～⑥のうちから一つ選び，解答欄 **24** にマークしなさい。

- a 目安箱を設置し，町火消の創設をなした。
b 金銀貸借訴訟は当事者間で解決させることとした相対済し令を出した。
c 長崎貿易を活発にさせ，倭物の輸出を奨励した。
d 上げ米を実施し，諸大名から1万石につき50石の米を上納させた。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

[設問11] 略系図中の下線部(h)の人物は家康が創設した「御三家」にならい「御三卿」を設けた。「御三卿」について述べた次の文 a ~ dのうち、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①~⑥のうちから一つ選び、解答欄 **25** にマークしなさい。

- a 清水徳川家は、9代將軍の弟を祖とする。
- b 田安徳川家は、10代將軍の弟を祖とする。
- c 一橋徳川家は、9代將軍の弟を祖とする。
- d 清水・田安・一橋という名称は、江戸城の門のそばに屋敷が与えられたことに由来する。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

[設問12] 略系図中の下線部(i)の人物も改革を行ったことで知られている。この人物について調べたSさんは、メモ2にまとめた。

メモ2

松平定信は **ク**。その後、老中となり幕政に参加した。定信の行った改革の内容は多岐にわたるが、そのうちの一つに **ケ**がある。

次の文 a ~ dのうち空欄 **ク**、**ケ**に入る文の組み合わせとして最も適切なものを、下の①~④のうちから一つ選び、解答欄 **26** にマークしなさい。

- a 田安徳川家に生まれ、陸奥白河藩へ養子に出され藩主をつとめた
- b 一橋徳川家に生まれ、遠江浜松藩へ養子に出され藩主をつとめた
- c 飢饉対策として青木昆陽を登用して甘藷の栽培を奨励したこと
- d 江戸の石川島に人足寄場を設置し、無宿人を収容して職業訓練をほどこしたこと

- ① ク a ケ c ② ク a ケ d
- ③ ク b ケ c ④ ク b ケ d

[設問13] 略系図中の下線部(j)の人物の治世時である文化・文政年間（1804～1830）ころ，化政文化が展開した。化政文化の頃の作品X・Yと，それに関連する人物名a～dの組み合わせとして最も適切なものを，下の①～④のうちから一つ選び，解答欄 **27** にマークしなさい。

X 『浮世風呂』 Y 『東海道四谷怪談』

a 十返舎一九 b 式亭三馬 c 鶴屋南北 d 上田秋成

① X-a Y-c ② X-a Y-d

③ X-b Y-c ④ X-b Y-d

[設問14] 19世紀に開かれた私塾と開いた人物の組み合わせとして最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選び，解答欄 **28** にマークしなさい。

	私塾	人物
①	懐徳堂	緒方洪庵
②	懐徳堂	山片蟠桃
③	適塾（適々斎塾）	山片蟠桃
④	適塾（適々斎塾）	緒方洪庵

Ⅲ 次のA～Cの文章を読んで、各設問に答えなさい。

なお、読みやすくするために、史料の表記を書き改めたり省略した部分がある。

A 生徒Sは、歴史総合の教科書や参考文献から、各時代の「移民」についてまとめ、ノート1を作成した。

ノート1

(1) 19世紀半ば～1920年頃の「移民の時代」

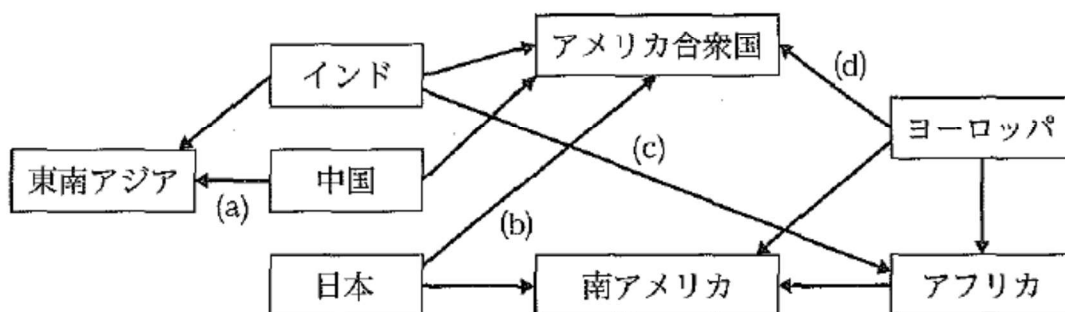


図 この時代の世界の移民の動き (一部)

- ・19世紀半ばの大飢饉の影響を受けた移民を含む…
- ・奴隷貿易廃止後に、イギリス植民地の開発に使役された労働者を含む…
- ・「苦力 (クーリー)」も多く含まれ、華僑と呼ばれた移民…

(2) 大衆化の時代と日本の移民政策

- ・日本がパリ講和会議で人種差別撤廃を提案
(e)
- ・満洲移民を推進

(3) グローバル化と移民・難民の発生

- ・冷戦終結後の地域紛争による難民の発生
(f)
- ・移民に対する国民の不安・不満の高まり
(g)

〔設問1〕 空欄 **ア** ~ **ウ** には、ノート1の図中の記号(a)~(d)のいずれかが入る。各空欄と記号の組み合わせとして最も適切なものを、次の①~⑥のうちから一つ選び、解答欄 **29** にマークしなさい。

- ① アー d イー a ウー b
- ② アー d イー c ウー a
- ③ アー d イー b ウー c
- ④ アー c イー a ウー d
- ⑤ アー c イー b ウー a
- ⑥ アー c イー d ウー b

〔設問2〕 下線部(e)について述べた文として最も適切なものを、次の①~④のうちから一つ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- ① 採択され、国際連盟規約に明記された。
- ② 採択され、中・東欧諸国が民族自決の原則の下に独立した。
- ③ 朝鮮や台湾など植民地の民族自決を認めるものだった。
- ④ 背景に日米間での移民問題があった。

〔設問3〕 下線部(f)について述べた次の文 i ~ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①~⑥のうちから一つ選び、解答欄 **31** にマークしなさい。

- i ユーゴスラヴィア連邦が分裂し、激しい民族紛争が起こった。
 - ii シリアが政府軍や反政府勢力、過激派組織などによる泥沼の内戦に陥った。
 - iii アフガニスタン戦争でタリバーン政権が崩壊した。
- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
 - ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

[設問 4] 下線部(8)が**具体的に表れた出来事** X～Zと、その**写真** a・bの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、**解答欄** **32** にマークしなさい。

具体的に表れた出来事

- X 自衛隊の国連平和維持活動 (PKO) への派遣
- Y 環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定の締結
- Z イギリスのEU離脱

写真 a

写真 b

※写真については著作権の関係により掲載できません。

(出典：日本経済新聞)

(出典：内閣府)

- ① X－a ② X－b
- ③ Y－a ④ Y－b
- ⑤ Z－a ⑥ Z－b

B 生徒Tは、「近代日本の戦争と社会」について授業で学んだことをふまえて、日本史探究の教科書や参考文献から資料を集めた。

〔設問5〕 生徒Tは、戊辰戦争と西南戦争の性格について、メモにまとめた。この2つの戦争について述べたメモとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **33** にマークしなさい。

- ① 戊辰戦争と西南戦争は、いずれも内戦であったという点で共通している。
- ② 戊辰戦争と西南戦争は、いずれも主な戦場が九州地方であったという点で共通している。
- ③ 戊辰戦争に敗れた旧幕府勢力は、大政奉還を申し出て政権を返上した。
- ④ 西南戦争は、その後に相次いだ士族反乱の先駆けとなった。

〔設問6〕 生徒Tは、日清戦争と日露戦争に注目し、表1をまとめた。表1から読み取れる事柄X・Yと、そこから導くことのできる推測a・bの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 34 にマークしなさい。

表1 日清・日露戦争における日本陸軍の死因別死者数

死因	日清戦争	日露戦争
戦死（戦闘における死）	1,132	50,817
戦傷死（戦傷を原因とする死）	285	9,214
戦病死（従軍中にかかった病を原因とする死）	16,441	21,424
全死者数の合計	17,858	81,455

（単位：人）

表1から読み取れる事柄

- X 日露戦争時には、日清戦争時に比べ、全死者数に占める戦病死者の割合は低く抑えられた。
- Y 日露戦争時には、日清戦争時に比べ、全死者数に占める戦傷死者の割合は低く抑えられた。

推測

- a 日露戦争時には、戦闘時に兵士の身体を防護する装備が改善されたのではないか。
- b 日露戦争時には、陸軍における衛生状態や医療水準が改善されたのではないか。
- ① X-a ② X-b ③ Y-a ④ Y-b

- [設問7] グラフ1から読み取れる事柄X・Yと、その要因であると推測できる事柄a・bの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **35** にマークしなさい。

グラフ1 日本政府の歳出（一般会計および軍事費，1880年～1915年）

※グラフ1については著作権の関係により掲載できません。

（中村隆英「マクロ経済と戦後経営」より作成）

グラフ1から読み取れる事柄

- X 日清戦争開始前の数年間の歳出は、横ばい状態が続いていた。
 Y 日露戦争費は、外債などの借り入れに頼ることなく支出された。

その要因であると推測できる事柄

- a 初期の帝国議会では、民党勢力が多数を占めており、増税が困難であったため。
 b 日清戦争によって得られた巨額の賠償金を充てることができたため。

- ① X-a ② X-b ③ Y-a ④ Y-b

〔設問 8〕 昭和前期の戦争とその呼称について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **36** にマークしなさい。

- ① 日本は、柳条湖事件を契機として「第二次世界大戦」に参戦した。
- ② 日本は満洲事変の勃発当時、これを「満洲某重大事件」と呼び、国民には秘密にした。
- ③ 日本は盧溝橋事件によって宣戦布告のないまま戦争状態に突入し、これを当初「北支事変」と呼んだ。
- ④ 日本は、英米との戦争開戦の当初、これを「太平洋戦争」と呼んだ。

- 〔設問9〕 生徒Tは女性の戦争動員について調べ、下記の資料1をみつけた。資料1に関連して述べた次の文a～dについて、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **37** にマークしなさい。

資料1 義勇兵役法（1945年6月23日施行、抜粋）

第2条 義勇兵役^(註)ハ、男子ニ在リテハ年齢15年ニ達スル年ノ1月1日ヨリ年齢60年ニ達スル年ノ12月31日迄ノ者、女子ニ在リテハ年齢17年ニ達スル年ノ1月1日ヨリ年齢40年ニ達スル年ノ12月31日迄ノ者之ニ服ス

(注) 義勇兵役…特例として定められた兵役で、通常の兵役と同様に「臣民の義務」とされ、召集を不当に免れた者には懲役刑が科せられた。

- a 資料1が施行されたことに基づき、学徒出陣が実施された。
 - b 資料1に先だって、沖縄戦では男子中等学校・女学校の生徒が戦闘や看護に動員された。
 - c 資料1の施行によって、女性も兵役に服することが可能になった。
 - d 資料1に定められた男性の義務兵役に関する年齢規定は、通常の兵役と同様であった。
- ① a・b ② a・c ③ a・d
 ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

C 生徒Uは、歴史総合・日本史探究の教科書や参考文献から「産業発展と開発」について資料を集めた。

〔設問10〕 生徒Uは各国の産業革命の時期や背景について調べ、メモにまとめた。各国の産業革命について述べたメモとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **38** にマークしなさい。

- ① イギリスでは重化学工業を中心とする第一次産業革命の結果、巨大企業による資本の独占が進んだ。
- ② アメリカにおける第二次産業革命の背景には、植民地獲得競争において優位に立ち、海外市場を獲得したことがあった。
- ③ 日本の産業革命の開始は、イギリスに1世紀以上後れを取ったが、繊維産業から始まったという点では共通していた。
- ④ 日本は、日露戦争の賠償金を元手として、官営八幡製鉄所を設立した。

- 〔設問11〕 図1 および関連する事柄について述べた文として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 39 にマークしなさい。

図1 日本の工業生産額（1929～1939年）

※図1については著作権の関係により掲載できません。

（『長期経済統計』10 鉱工業より作成）

- ① 1930年代に重化学工業が発展した背景には、軍需生産の拡大があった。
- ② 1930年代を通じて、日本経済は世界恐慌前の生産水準を回復することはできなかった。
- ③ 1930年代を通じて、軽工業に占める繊維工業の比率は増加基調にあった。
- ④ 重化学工業の発展にともない、三井・三菱・住友などの新興財閥が台頭した。

〔設問12〕 資料2は、環境破壊に対する田中正造の天皇直訴状の一部である。資料2および関連する事柄について述べた文として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **40** にマークしなさい。

資料2 田中正造の天皇直訴状の一部（一部を省略、難解な語を現代語訳した）

東京の北四十里にして足尾銅山あり、近年鉱業上の器械様式の発達するに従い、その流毒益々多く、その採鉱製銅の際に生ずる毒水を溪流に注ぎ、渡良瀬川に流出させて沿岸その害を被らざるなし。加うるに近年山林を乱伐し、水源を赤土となせるがゆえに、川の形が激変して洪水し、また水量の高まること数尺、毒流四方に氾濫し、魚族は死に、田園は荒廃し、数十万の人民は財産や職を失い、老幼は倒れ、壯者は他の土地に流離せり。

政府当局が天皇陛下の統治する土地と人とを悲境に陥らしめて省みるなきもの、臣の黙止すること能わざる所なり。政府当局をしてよくその責を尽くさしめねばならぬ。

（『田中正造之生涯』）

- ① 田中は、このままでは近隣住民の生活に被害が出ると予測し、天皇への直訴を行った。
- ② 田中は、国土の荒廃を食い止めることは天皇の責任であると主張した。
- ③ 田中は、公害の原因は過度な森林伐採であり、これにより赤土中の有毒成分が流出したことであると主張した。
- ④ 田中は、この問題を天皇への直訴状だけでなく、帝国議会でも追及した。

- 〔設問13〕 **資料3**は、大正期の大阪を紹介する写真集に掲載された、当時の大阪市内の様子である。**資料3**から読み取れる事柄X・Yと、それに関連する**当時の状況**a・bの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、**解答欄** 41 にマークしなさい。

資料3

※資料3については著作権の関係により掲載できません。

(『大阪府写真帖』1914年)

資料3から読み取れる事柄

- X 当時の大阪は「煙の都」と呼ばれ、煤煙による公害が深刻な問題となっていたことが紹介されている。
- Y 大阪市内の工場から排出される煤煙は、都市発展の表れとして肯定的に紹介されている。

関連する当時の状況

- a 大阪市内には多くの紡績工場が立地し、綿製品は日本の主要な輸出品となっていた。
- b 資料の時期、工場法の施行により、煤煙問題は緩和されていた。

- ① X-a ② X-b ③ Y-a ④ Y-b

[設問14] 資料4は、公害訴訟に関する新聞報道（大意）である。これに該当する公害が起きた都府県として最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **42** にマークしなさい。

資料4

※資料4については著作権の関係により掲載できません。

(『朝日新聞』1972年7月24日)

- ① 東京都 ② 富山県 ③ 新潟県
- ④ 三重県 ⑤ 大阪府 ⑥ 熊本県